

平成 27 年度 日立市教育研究会先進校等調査派遣研修報告書

日立市立坂本小学校 教諭 松本 雪菜

- 1 派遣期日 平成 27 年 8 月 5 日（水）
- 2 研修先 会場名 本郷ふれあいセンター 稲敷郡阿見町本郷 1 丁目 11 - 1
阿見町立舟島小学校 稲敷郡阿見町島津 3 9 2 8

3 研修内容

平成 27 年度 阿見町教育研究会発表会
・教育講演会
・キャリア教育部会

(1) 教育講演会について

講師 茨城県立土浦特別支援学校 教諭 加来慎也先生

演題 「配慮が必要な児童の理解と通常学級における対応を考える」

① 知能指数は固定的なものではない

知能

適応力 = (個体の能力) × (環境因子)

やる気

学校体制

体調

授業力

学級経営力

家庭環境

支援教育体制として、環境因子を整えることが大切

② 発達障害の児童への対応策

ア ワーキングメモリーが少ないことに配慮した指導方法

- ・説明、指示、発問を短く具体的に
- ・一目で分かる工夫
- ・複数の作業を並行させず、単一で

イ ドーパミンが、子供自身の脳内で作られる、働きかけ・指導方法

- ・動き、動作がドーパミン作動系神経を活性化させる。(作業興奮)
- ・数字を入れる(説明・指示・評価に)

(2) キャリア教育部会

① 発表・研究協議より

ア 阿見町立本郷小学校 倉重 千晶先生の発表より

研究主題 児童一人一人の勤労観、職業観を育てるキャリア教育の在り方
— 発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の推進 —

○ 実践の内容

活動① 「偉人の生き方から学ぼう」

図書室の本(伝記)を読み、偉人の生き方を調べる活動。

○ 指導の工夫

- ・調べる偉人を決定する際には、ワークシートに自分の目指す生き方をはっきりさせる。(自己理解・自己管理能力)
- ・自分の目指す生き方と関係のある偉人を選ぶようにする。(キャリアプランニング能力)
- ・選んだ偉人についての伝記を読み、生き方を調べる。(課題対応能力)

○ 考察

自分の目指す生き方を視野に入れて臨むことにより、意欲が高まり、偉人の生き方から、あこがれる自己イメージを獲得することができた。また、自分の目指す生き方を探る際、自分の長所や欠点を視野に入れたり、友達の助言をもとにしたりすることを通して、自己理解を深めることができた。

イ 阿見町立竹来中学校 長田 圭史先生の発表より

研究主題 学校の教育活動全体で取り組むキャリア教育の在り方

ーキャリア教育の視点を踏まえた各教科等の教育の推進ー

○実践の内容

キャリア教育の視点を取り入れた清掃活動

「課題対応能力」の育成を目指す

→（中学校 キャリア教育の手引きでは）仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力

↓

◎黙働清掃の見直しを図る

今までの清掃の仕方→清掃プランの見直し（ワークシート、話し合い）→振り返り

○考察（生徒のワークシートの内容より）

㊦ 黙働清掃で得るものは？（取組前の発問）

㊦ 一人で物事を考える時間

集中力が忍耐力を高める

㊦ 黙働清掃が将来の自分たちの何に役立つと思うか？（取組後の発問）

㊦ 一つ一つの仕事のクオリティーの向上

自分で考え、より適切に判断できる

自分たちが取り組んできた清掃を見つめ直すことで、課題を洗い出し、その課題を処理し解決する課題対応力を育てることにつながった。

②講師指導より 常陸大宮市立山方小学校 塚田 薫 教頭先生

ア キャリア教育のとらえ方

○キーワードは「つなぐ」……学業生活と社会生活、職業生活をつなぐ。

○教育課程をつなぎ、生活をつなぐ。

○社会的・職業的な自立のために。

・社会性や生活能力を高め、社会的な自立を促す。

・勤労観・職業観を養い、職業的な自立を促す。

・主にキーコンピテンシーやP I S A型学力を培い、生涯にわたって学ぶ力や学んだことを活用する力を身に付けさせる。

イ キャリア教育と学力向上

○学力向上に生かすキャリア教育。

・学ぶ目的や学習の必要性を理解させ、意欲を高める。

・学んだ知識や技能の「活用」の仕方を理解・習得させ、実践させる。

（場の設定）

・学習活動の時間を確保。（学び合い、アクティブ・ラーニング等）

・他教科等との関連、社会生活との関連を理解させる。

ウ キャリア教育と「総合的な学習の時間」関連のキーワード

○自己の生き方→人間としての生き方。〈自己理解・意思決定・自己表現〉

○協働的に学び合えるコミュニケーション能力の形成。

○体験を生かした生きる力や基礎的・汎用的能力の形成。

4 感想

今回の教育講演会では、配慮が必要な児童への対応の仕方として、説明、指示、発問を短く具体的にしたり、指示の中に数字を入れたりするということを学んだ。これはすぐに実践できることなので、実践していきたいと思った。

キャリア教育については、普段の学校の教育活動全体を通して行うもので、すでに行っている教育活動にキャリア教育の視点を取り入れてみるのが大切だと感じた。今回学んだことを、本校にも取り入れ、キャリア教育の充実を図っていきたい。